

令和3年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

令和3年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領」(平成30年3月28日付け29農振第2261号農林水産省農村振興局長通知)の第9の1の(1)の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			R1	R2	R3		
静岡県	静岡市	オクシズ「漆の里」協議会	●	●	■	A	<p>本事業は、静岡市の中山間地域「オクシズ」に位置する6振興山村において、「漆」生産という新たな産業に着手することで、所得向上、雇用拡大、景観保全などの地域課題の改善を図るための基盤整備を行うこと、また市内の国宝・重要文化財の修復や伝統工芸、地場産業の振興に結びつく事業を推進することを目的とする。</p> <p>漆生産の振興と新たな地域資源としての定着を図るため、令和元年度には多くの調査検討項目と事業ロードマップが設定された。令和2年度には、①地域資源の賦存状況・利用形態等の調査、②地域資源活用のための合意形成・組織づくり・人材育成、③地域資源の消費拡大や販売促進・付加価値向上等を図る取り組みが行われた。最終年度の令和3年度は、コロナ禍の中で行動の制約等に留意しつつも、設定していた事業を着実に実施し、目標としていた成果の確保ができたものと考えられる。漆掻きができるようになるまでに10年程度を要するとされ、漆の健全な生育と良質なウルシの確保による更なる事業展開の活性化と安定化及び収益確保を目指し、活用計画の展開を強化していくことが求められる。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A・・・優良 B・・・良好 C・・・低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金(山村活性化対策)実施要領の第9の1の(1)の規定に基づき、第三者である松井 一晃から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

松井 一晃

【意見聴取の概要】

大学時代の研究及び卒業後の官公庁委託業務等により、静岡市北部山間部での自然・文化歴史関係の調査研究実績が数多くあり、本地域の基礎知識を持たれている。令和3年度の報告書を提示し、また口頭での説明を行い意見聴取を行った。